

管理会計論コラボ 2023年短答再スタート

超★効率的学習法セミナー

～監査論編～



TAC梅田校・神戸校 監査論講師
公認会計士 岡田 健司



講師紹介・経歴

😊 岡田 健司(おかだ けんじ)

- 😊 平成16年6月(24歳) 前職退職
- 😊 平成18年11月(26歳) 公認会計士試験合格
- 😊 平成18年11月(26歳) 仰星監査法人入所
- 😊 平成22年5月(30歳) 公認会計士登録
- 😊 平成23年11月(31歳) TAC神戸校講師(一時中断)
- 😊 現在 仰星監査法人(シニアマネージャー)、
TAC梅田校&神戸校 監査論講師



監査論の科目の特徴

- ◎ 他の科目と比べて、**時系列**（①監査計画⇔②監査の実施⇔③監査意見の形成）で**の整理、各論点間のつながり**がとても重要な科目です。これらを意識した学習が必要です。
- ◎ 他の科目と比べて、イメージが持ちづらいにもかかわらず、本試験では**実務色が強く、考えさせるような問題**が数多く出題されます。日頃からご自身が公認会計士だったらどうするかな、普通どうするかな・・・と考えながら学習に取り組むことがとても重要です。受け身の姿勢で学習するといけません。
- ◎ **短答式試験での学習範囲が膨大**です。すべての肢を事前に対策して臨むのは、非常に効率が悪く、学習範囲が無数に広がってしまいます。最近の試験傾向からして、**過去問**を徹底的に押さえる学習が効果的かつ効率的です。



令和4年第Ⅱ回短答式試験の振り返り

- ☺ 問題数：20問（各4肢・計80肢）
- ☺ 難易度：前回よりやや難化（データリサーチ上の平均点：65点）
- ☺ 80肢のうち、過去問からの類似問**48肢**
- ☺ 回答しなければならない問題**11問**（問3・4・5・6・7・8・11・12・13・18・20）
- ☺ 過去問の組合せの消去法で判断できる問題**5問**（問1・2・9・10・17）

テキストと過去問の反復で十分に合格点が取れる！
過去問は短答対策講義でフォローします。



令和4年第Ⅱ回短答式試験の振り返り(実例①)

問題 4

ア. 上場会社の有価証券報告書に含まれる財務計算に関する書類及び当該会社の内部統制報告書を監査する公認会計士又は監査法人は、当該財務計算に関する書類の監査に係る概要書に内部統制報告書の監査に係る概要を合わせて記載しなければならない。

正解: ○ (概要書は両者セットで一つ)

類題 (令和2年第Ⅱ回目問題4ほか他の年度でも頻出)

監査証明に従事する公認会計士又は監査法人は、年度監査だけでなく、中間監査、四半期レビュー、内部統制監査のそれぞれについて監査概要書を作成し、内閣総理大臣に提出しなければならない。(誤り)。

※ **内部統制監査については年度監査の監査概要書と合わせて記載して作成する。**



令和4年第Ⅱ回短答式試験の振り返り(実例②)

問題 5

エ. 監査法人の社員が相当の注意を怠ったことにより、虚偽又は不当の監査証明を行った場合、内閣総理大臣は、当該監査証明が含まれる有価証券報告書を受理しない旨の決定をすることができる。ただし、この決定を理由として、当該監査法人が監査を行った他の会社の有価証券報告書について、受理しない旨の決定することはできない。

正解：×（受理しない旨の決定ができる）

類題（令和4年第Ⅰ回目問題4ほか他の年度でも頻出）

公認会計士又は監査法人が財務計算に関する書類について行った監査証明が不正なものであるとき、内閣総理大臣は、一年以内の期間を定めて、当該期間内に提出される有価証券報告書でその公認会計士又は監査法人の監査証明に係るものの**全部又は一部を受理しないことができる**（正解）。

特に総論、制度論の過去問演習が効果が高い！



基礎を重視した学習方法、基礎が理解できているとは

- **テキストを中心とした徹底した反復学習**
- 自分の理解を**口に出して表現**できる、また**ポイントを要約**できる
 - 例えば、監査の目的の前段と後段の関係、重要性の概念
- テキストを**横断的**に、縦横無尽に行き来することができる
 - 例えば、リスク評価手続、独立性に関する規定
- 過去問を**やりきる**、×肢について明確に**×の理由を表現**できる
- 以上のことを**徹底的にやりきった**と胸をはっていえるかどうか



講師からみて受かりそうな受験生と受かりにくい受験生の特徴

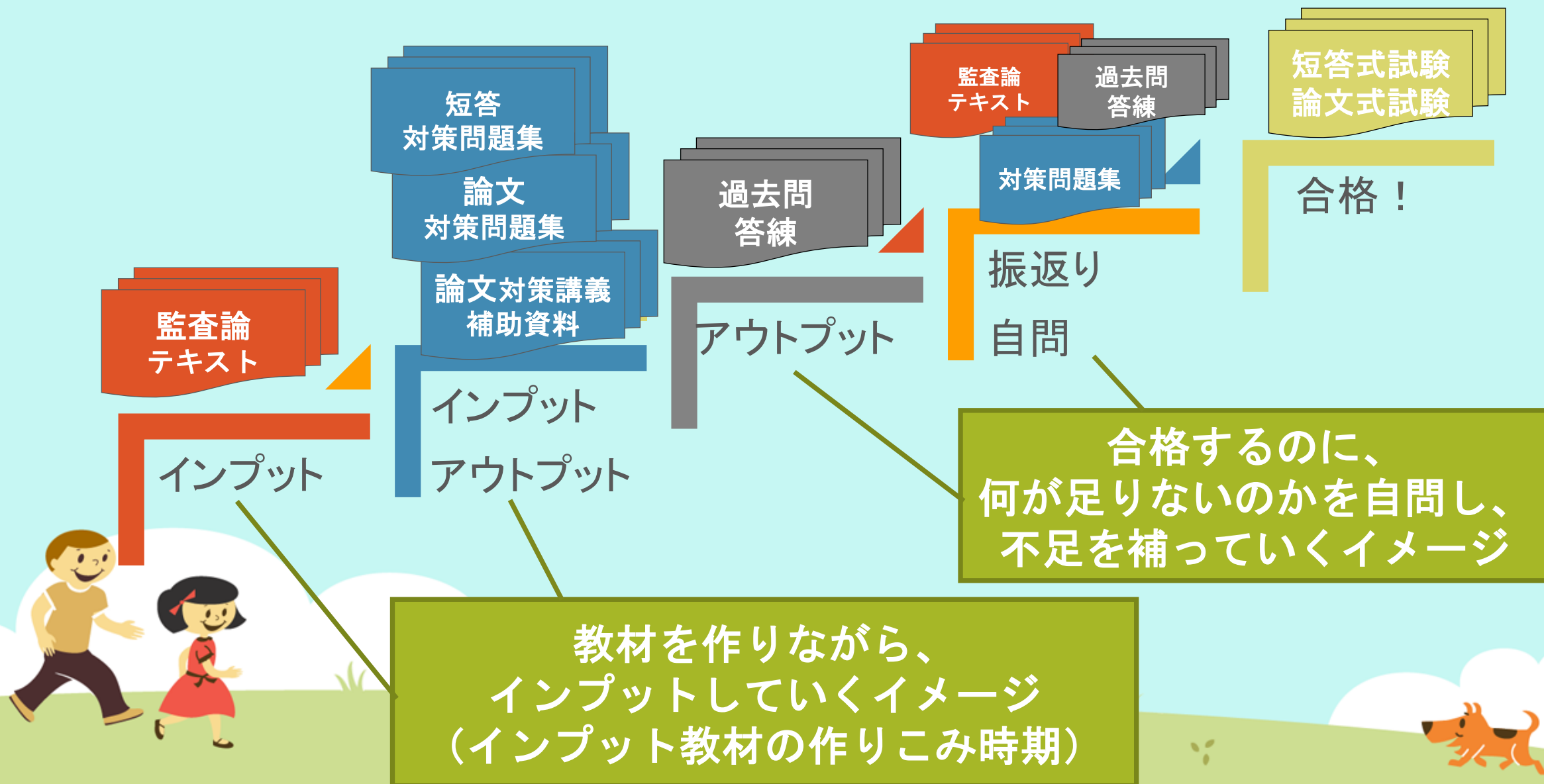
	受かりそう	受かりにくい
講師への質問待機	よく来てよく質問する	殆どこない
質問スタイル	ご自分のイメージや理解を伝える 疑問点を具体的に伝える イメージや実際の実務内容を質問する	ご自分のイメージや理解がない 疑問点を具体的に伝えられない
講師の指示	守る	守らない・自己流
学習スタイル	アウトプットできるかを重視	インプットに偏重
基礎に対する向き合い方	重視（わかっているか常に自問自答）	軽視（わかっていると思ってる）
答練や本試験問題	すぐに復習する	なかなか復習しない
勉強の十分性と適切性	十分かつ適切	十分ではない、適切ではない
教材	絞っている	あれこれとやっている

監査論の学習方法(基礎編(準備&短答式試験))

- ☺ 授業をしっかりきいて**テキストに情報**を集約、回転しやすいように作り込みましょう。
 - ☐ 参照頁のクロスリファレンスや、例やイメージの書き込みが大切です。
- ☺ 最初から完璧を期さずに、まず**全体像、つながり、流れ**を把握しましょう。
- ☺ **一言で端的に要点を説明**することを意識したポイント学習を意識してください。そして、徐々にその一言を繋げていく末広がりの説明を心がけましょう。
- ☺ **アウトプット(短答問題集&過去問)によるアウトプット力養成を重視**しましょう。
- ☺ 過去問は少なくとも5年分取り組みましょう。肢別だけで乗り切ってはだめです。
 - ☐ 問題を解いては、**関係するテキストの箇所をしっかりと読んで**前後の内容も理解しましょう。



学習のステップ(イメージ)



絶対に合格して
公認会計士になろう！



絶対合格宣言！